

卓球台キャスター取り付け箇所 点検のお願い

2020/03

平素は弊社製品をご愛顧頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用中の卓球台キャスター部のボルト・ナットの緩みにより、キャスターが脱落する事がございます。

キャスターを止めるボルト・ナットが緩み、本紙のような状態になっていないかをご確認下さい。

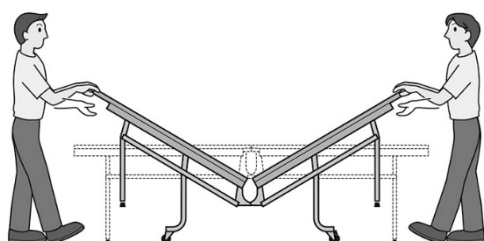
万が一緩んでいた場合には、下記確認・手順に従いボルト・ナット締め直しを行って下さい。

作業上、ご不明な点や、十分に締まらない場合は、弊社までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

●対象機種（以下、YES/NOにそって、対象機種のご確認をお願い致します。）

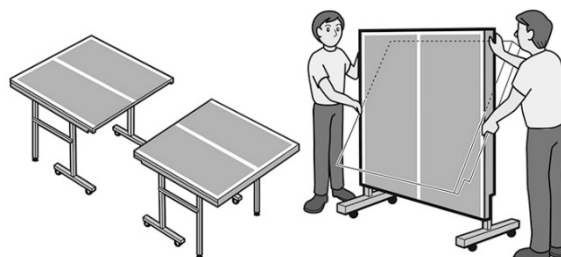
- ・ 左右の天板が卓球台の中央でつながっている「内折式」「内折一体型」「一体型」形状の卓球台。
（卓球台1台につき、全体でキャスターが4つ装着されている卓球台です。）
- ・ 2014年5月以降に販売された卓球台。

「内折式」「内折一体型」「一体型」



YES

「セパレート式」「組立式」など



NO

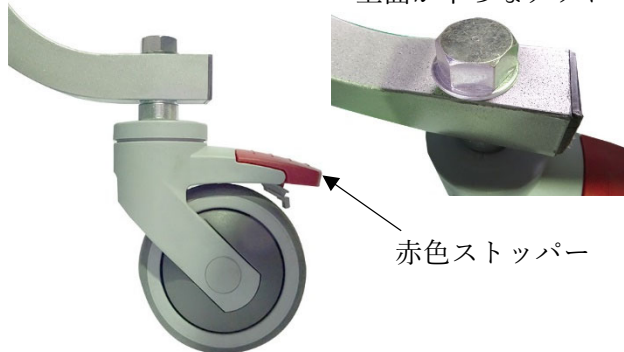
★をご参照
ください

●対象部品

- ・ キャスターのストッパーが赤色で、かつパイプ上側のナットが平らになったもの。

【補足】ストッパーが赤色のキャスターは2014年5月以前より採用しておりますが、同日以前は半球形状をした「袋ナット」を使用しており、また同日以降におきましても一部製品におきましては袋ナットを使用している場合もございます。袋ナットを使用している卓球台は本件の対象外ではございますが、ゆるみが発生している場合は、締め付けをおこなってください。

上面が平らなナット



赤色ストッパー

YES

次ページをご参照下さい

袋ナット



NO

★をご参照
ください

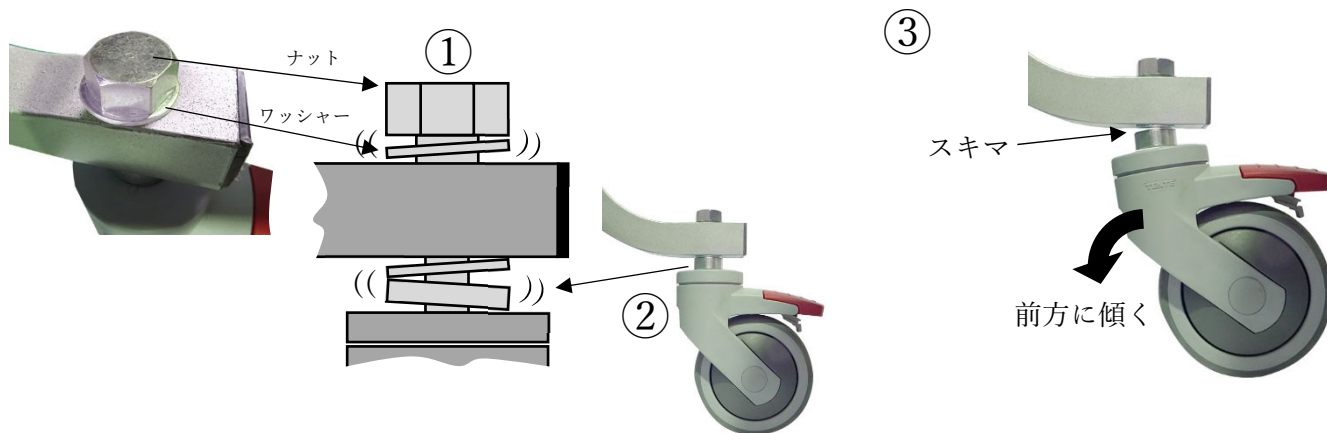
※キャスター取り付け部分、他のボルト・ナット、天板を固定しているビスなどに緩みが無いか、キャスターの摩耗や動きに異常が無いか、その他異音の発生などが無いかなどを点検して頂き、異常が見られた場合には取扱説明書に従って処置をお願い致します。（日頃より卓球台の日常点検の実施をお願い致します。）
なお、器具庫の出入口など、床面の段差は卓球台・キャスターに負担をかける原因となりますので、段差を軽減する処置をお願い致します。

以下の確認、対処につきましては、周囲に子供や部外者などがいないかなどの安全をご確認の上、卓球台を安全に保持できる人数でおこなってください。

また作業に際しては手袋を使用するなどして、怪我をされない様にご注意ください。

●確認方法

- ①パイプ上面ナットがパイプから浮いている、ワッシャーを手で触ると動くなどの症状が無いかな？
 - ②キャスターとパイプの間にあるワッシャーにカタカタと動くような症状が無いかな？
 - ③キャスターが傾斜し、パイプとの間にすき間が生じていないかな？
- ※上記症状はゆるみが**進行**している場合に多く見られる症状です。症状の有無や大小にかかわらず、下記「対処方法」にて増し締めをお願い致します。



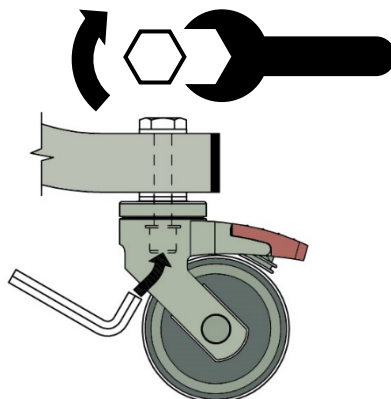
●対処方法

- ①キャスターの下側より六角棒レンチを差し込み、内部にある六角穴に差し込みます。
- ②スパナを時計方向に回し、ナットの回転が止まるまで強く締め付けます。
- ③上記確認方法の症状がない事を確認します。

六角棒レンチ



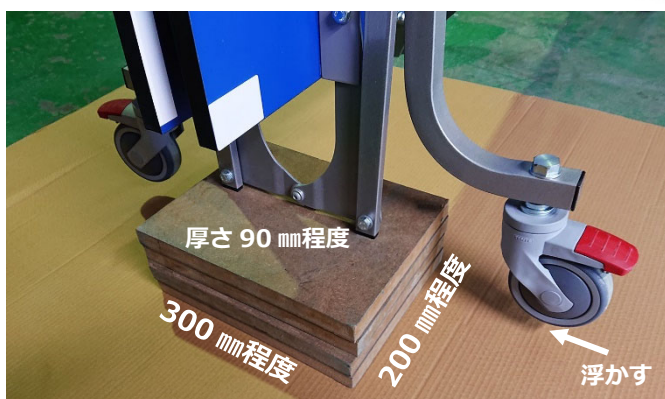
2面幅 10 mm



スパナ



22 mm



- ボルト・ナットの緩みが顕著でない場合はそのままの状態です締め付けて出来ますが、上記の様に大きな傾きが見られる場合は、左の写真の様に固い板などをおいて、キャスターを浮かした状態で締め付けてください。
- この際、卓球台が不安定になりますので、他の方が卓球台を支えながら作業をして頂きますようお願い致します。

- 同様の症状が発生していないか、他のボルト・ナット、天板を固定しているビスなどに緩みが無いかな、キャスターの摩耗や動きに異常が無いかな、その他異音の発生などが無いかなど、日常点検、定期点検を実施して頂き、異常が見られた場合には取扱説明書に従って処置をお願い致します。
- なお、器具庫の出入口など、床面の段差は卓球台・キャスターに負担をかける原因となりますので、段差を軽減する処置をお願い致します。